

## V 未来に向けた土台づくり 『元気な三田』への再始動予算

### ◆ 「こどもを核としたまちづくり」に向けた施策の充実

#### 《事業の目的》

三田で安心して子どもを産み、育てられる子育て・教育環境の充実を図り、若者・子育て世代の定住につなげていく「こどもを核としたまちづくり」の土台を築きます。

事業費		8億8,579万円
財源	国・県	1億2,725万円
	市債	5億4,120万円
	基金	6,972万円
	市税等	1億4,762万円

#### 《主な事業》

- ◆ 産婦健康診査助成事業（すくすく子育て課） 560万円  
（財源：国・県 280万円、市税等 280万円）
- ◆ 産後ケア事業（すくすく子育て課） 294万円  
（財源：国・県 143万円、基金 129万円、諸収入 22万円）
- ◆ 産後ヘルパー事業（すくすく子育て課） 270万円  
（財源：国・県 150万円、諸収入 44万円、市税等 76万円）
- ◆ 子ども家庭センター相談支援体制の強化（子ども家庭課） 543万円  
親子関係形成支援事業（ペアレントトレーニング等の実施）  
（財源：国・県 283万円、市税等 260万円）
- ◆ 市立認定こども園みつば幼稚園の開園及び 3,112万円  
（仮称）市立認定こども園ありまふじ幼稚園の開園準備（幼児教育振興課）  
通園バス運行業務や開園に向けた園児の交流事業等  
（財源：国・県 88万円、基金 723万円、諸収入 82万円、市税等 2,219万円）
- ◆ 志手原幼稚園増築及び大規模改修事業（幼児教育振興課） 6億6,809万円  
（仮称）市立認定こども園ありまふじ幼稚園の開園に向けた増改築  
（財源：国・県 1億420万円、市債 5億4,120万円、基金 2,190万円、市税等 79万円）
- ◆ 病児・病後児保育事業（保育振興課） 708万円  
（財源：国・県 312万円、諸収入 14万円、市税等 382万円）
- ◆ 不登校等対策事業（学校教育課） 3,945万円  
「子どものサポーター」を追加配置し、校内サポートルームでの支援、  
あすなる教室スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置の充実等  
（財源：国・県 945万円、諸収入 56万円、市税等 2,944万円）
- ◆ 放課後児童クラブ児童送迎バス運行事業（健やか育成課） 1,794万円  
（財源：国・県 104万円、市税等 1,690万円）
- ◆ 学校給食費保護者負担金軽減事業（学校給食課） 1億401万円  
給食費の値上げ相当分についての負担軽減とともに、調理に伴う燃料代等について  
給食費の値上げ抑制のため、今後は市が負担する見直しを実施  
（財源：基金 3,787万円、市税等 6,614万円）
- ◆ 安全なさんの食材等学校給食活用事業（学校給食課） 143万円  
（財源：基金 143万円）

※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

※ P17 から P19 の重点施策にかかる掲載事業は、P20 以降の各事業を再掲しています。

## ◆ 子どもから高齢者まで誰もが「安心して暮らせる三田」

### 《事業の目的》

市民の暮らしを生涯にわたってサポートし、年齢や性別、障害の有無、国籍などに関わらず、誰もが安全・安心に暮らし続けられるやさしいまちづくりを推進します。

事業費		4億7,859万円
財源	国・県	159万円
	市債	2億6,970万円
	基金	4,360万円
	市税等	1億6,370万円

### 《主な事業》

- ◆ 民生委員・児童委員担い手確保事業（地域福祉課） 100万円  
（財源：国・県 75万円、市税等 25万円）
- ◆ 新型コロナワクチン定期接種事業（健康増進課） 4,360万円  
新年度から定期接種に移行することを受けた個別医療機関での接種体制の構築  
（財源：基金 4,360万円）
- ◆ 新統合病院整備関連事業（地域医療推進課・市民病院事務局） 2億2,582万円  
新統合病院基本計画等の策定、現三田市民病院の跡地活用調査等  
（財源：市債 1億1,300万円、市税等 1億1,282万円）
- ◆ 消防指令業務共同運用事業（消防本部） 1億4,701万円  
消防指令業務を神戸市と共同運用することによる相互応援出動の迅速化等  
（財源：市債 1億4,700万円、市税等 1万円）
- ◆ 被災者支援システム運用事業（危機管理課） 1,462万円  
被災者情報の一元管理による迅速かつ効率的な被災者支援体制の構築  
（財源：市債 970万円、市税等 492万円）
- ◆ 避難所環境整備事業（危機管理課） 1,218万円  
パーテーションや簡易ベットを備蓄し、多様なニーズに配慮した避難所運営の推進  
（財源：市税等 1,218万円）
- ◆ 介護人材育成支援事業（介護保険課） 120万円  
資格取得に必要な研修費用に加え、新たに介護支援専門員の更新費用の一部助成等  
（財源：国・県 56万円、市税等 64万円）
- ◆ 地域外出支援おでかけサポート事業（交通まちづくり課） 974万円  
（財源：使用料 43万円、市税等 931万円）
- ◆ 失語症者向け意思疎通支援者派遣事業（障害福祉課） 34万円  
（財源：国・県 15万円、市税等 19万円）
- ◆ 重度障害者外出支援事業（障害福祉課） 1,896万円  
タクシー料金助成券の利便性の向上と増額による充実  
（財源：市税等 1,896万円）
- ◆ 自殺対策事業（地域福祉課） 49万円  
（財源：国・県 13万円、市税等 36万円）
- ◆ 外国人語学指導員配置事業（学校教育課） 363万円  
（財源：市税等 363万円）

※コロナに負けるな！さんだエール基金を活用して実施します。

## ◆ 「元気な三田」を見据えた未来への投資

R6.3.28 修正

### 《事業の目的》

市民本位の市政による「元気な三田」を目指し、未来にわたって住み続けたいふるさと・さんだをつないでいくための生活環境の充実を図ります。

事業費		35億 850万円
財源	国・県	1億 3,021万円
	市債	28億 4,540万円
	基金	3億 9,800万円
	市税等	1億 3,489万円

### 《主な事業》

- ◆ さんだ移住・定住促進アクションプログラム（若者のまちづくり課） 3,736万円  
（財源：国・県 1,920万円、市税等 1,816万円）
- ◆ 学生のまちづくり支援事業（若者のまちづくり課） 475万円  
（財源：国・県 236万円、諸収入 3万円、市税等 236万円）
- ◆ 地域計画推進事業（農業創造課） 880万円  
（財源：国・県 499万円、市税等 381万円）
- ◆ ニュータウン再生事業（都市政策課） 1,342万円  
（財源：国・県 250万円、市税等 1,092万円）
- ◆ （項目削除）
- ◆ 新ごみ処理施設整備事業（クリーンセンター） 3億 44万円  
（財源：市債 2億 2,510万円、基金 6,140万円、市税等 1,394万円）
- ◆ 大規模改修等公共施設マネジメント（各所管課） 31億 4,373万円  
（財源：国・県 1億 116万円、市債 26億 2,030万円、基金 3億 3,660万円、市税等 8,567万円）

※公共施設等整備基金を活用して実施します。

## ❖ 物価高騰下における市民生活等への支援

### 《事業の目的》

物価高騰の負担が大きい低所得世帯や引き続き影響を受ける生活者及び事業者を支援するために、国の重点支援交付金等を活用しながら、継続的な対策を推進します。

事業費		5億 262万円
財源	国・県	3億 4,435万円
	市債	-
	基金	3,787万円
	市税等	1億 2,040万円

### 《主な事業》

- ◆ 学校給食費保護者負担軽減事業（学校給食課） 1億 401万円  
（財源：ありがとう！三田っ子応援基金 3,787万円、市税等 6,614万円）
- ◆ 物価高騰対応重点支援給付金（地域福祉課）【1月、3月補正】 2億 9,591万円  
住民税均等割のみ課税世帯に対して 10万円、  
住民税非課税及び均等割のみ課税世帯の子どもに対して 5万円の支給  
（財源：重点支援地方創生臨時交付金 2億 9,591万円）
- ◆ 小規模事業者物価高騰対策助成金（産業政策課）【3月補正】 5,100万円  
（財源：重点支援地方創生臨時交付金 1,770万円、市税等 3,330万円）
- ◆ 農家物価高騰対策支援金（農業創造課）【3月補正】 4,969万円  
（財源：重点支援地方創生臨時交付金 2,974万円、市税等 1,995万円）
- ◆ 公共交通事業者燃料油価格高騰対策支援補助金（交通まちづくり課）【3月補正】 201万円  
（財源：重点支援地方創生臨時交付金 100万円、市税等 101万円）

## (1) 「ひと」のチカラを育み、活きるまち



### ア 地域で支えるまちづくり・協働

#### ① 【新】民生委員・児童委員担い手確保対策事業（地域福祉課）

##### 《事業の目的》

民生委員・児童委員不在の区域が発生している現状に対し、地域福祉の増進に必要な存在である民生委員・児童委員の役割やその活動等について理解を深め、新たな担い手の確保を目指します。

##### 《事業の内容》

民生委員・児童委員の役割や活動内容、やりがいや存在意義などを分かりやすくまとめたPR動画と啓発チラシを作成し、広報活動を行います。

- ◆PR 動画作成費 70 万円
- ◆啓発チラシ作成費 30 万円

事業費		100 万円
財源	国・県	75 万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	25 万円

### イ 健康づくり

#### ① 【新】新型コロナウイルスワクチン定期接種事業（健康増進課）

##### 《事業の目的》

新型コロナウイルスワクチン接種は令和 5 年度で「特例臨時接種」が終了し、令和 6 年度から予防接種法に基づく「定期接種」に移行します。

これを受け、重症化予防を目的として個別医療機関で接種が行える体制を構築します。

##### 《事業の内容》

65 歳以上の高齢者等の重症化リスクが高い人を対象に秋冬の時期に 1 回接種を行います。

- ◆医療機関への接種費用支払い 4,317 万円
- ◆関連消耗品、印刷費等 43 万円

※コロナに負けるな！さんだエール基金を活用して実施します。

事業費		4,360 万円
財源	国・県	-
	市債	-
	基金	4,360 万円
	市税等	-

### ウ 乳幼児期の育ち

#### ① 【拡】病児・病後児保育事業（保育振興課）

##### 《事業の目的》

市直営で実施している病気や病後の子どもの一時保育の環境や人員体制を整えることで、就労や子育てのセーフティネットとしての機能を強化します。

##### 《事業の内容》

多世代交流館内の専用スペースで病児・病後児保育を実施します。

- ◆訪問看護委託料 407 万円
- ◆保育環境整備費・備品購入費 140 万円
- ◆その他運営費 161 万円

事業費		708 万円
財源	国・県	312 万円
	市債	-
	諸収入	14 万円
	市税等	382 万円

## ② 【新】市立認定こども園の開園（幼児教育振興課）

### 《事業の目的》

市立幼稚園を再編し、長時間保育などの多様な保育ニーズに対応できる認定こども園を開園することにより、農村地域の子育て・教育環境の充実を図ります。

事業費		3,112万円
財源	国・県	88万円
	基金	723万円
	諸収入	82万円
	市税等	2,219万円

### 《事業の内容》

令和6年度 三田市立認定こども園みつば幼稚園開園（現：広野幼稚園を活用）  
 令和7年度（仮称）三田市立認定こども園ありまふじ幼稚園開園（現：志手原幼稚園を活用）

- ◆通園バス運行業務 1,805万円（債務負担行為：R7～R8 6,868万円）
- ◆通園バスリース 274万円
- ◆給食等外部搬入業務 133万円（債務負担行為：R7～R8 2,145万円）  
 ※給食センターが給食を提供していない期間（長期休業中等）に給食等の提供を行う。
- ◆その他開園に向けた備品購入や園児の事前交流など 900万円

※ありがとう！三田っ子応援基金を活用して実施します。

## ③ 志手原幼稚園増築及び大規模改修事業（幼児教育振興課）

### 《事業の目的》

（仮称）三田市立認定こども園ありまふじ幼稚園の開園に向け、志手原幼稚園の増改築工事を実施し保育室数等を確保します。

事業費		6億6,809万円
財源	国・県	1億420万円
	市債	5億4,120万円
	基金	2,190万円
	市税等	79万円

### 《事業の内容》

- ◆志手原幼稚園増築及び大規模改修工事

※ありがとう！三田っ子応援基金を活用して実施します。

## エ 地域ぐるみの子育て

### ① 【新】放課後児童クラブ児童送迎バス運行事業（健やか育成課）

#### 《事業の目的》

定員超過により所定の児童クラブに入所できない児童を近隣の児童クラブへ送迎することにより、待機児童の減少を図ります。

事業費		1,794万円
財源	国・県	104万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	1,690万円

#### 《事業の内容》

- ◆車両：3台
- ◆運行日数：255日

## ② 【新】民間児童クラブ運営費補助（健やか育成課）

### 《事業の目的》

待機児童の減少を図り多様な保育ニーズに応えるため、民間事業者が運営する放課後児童クラブに対して運営費用を補助します。児童の受け入れ先を確保し、保護者が安心して子育てができる体制を整えます。

### 《事業の内容》

- ◆運営費補助

事業費		588万円
財源	国・県	392万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	196万円

## ③ 【新】休日地域クラブ活動推進事業（学校教育課）

### 《事業の目的》

学校の「休日」部活動の地域移行に伴い発生する保護者負担を軽減することで、地域移行を推進します。

### 《事業の内容》

- ◆地域クラブ活動で費用負担した生徒の保護者に対する補助制度を設けます。

事業費		142万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	142万円

## オ 学校教育の充実

### ① 【拡】新統合中学校建設事業（学校再編課）

#### 《事業の目的》

上野台中学校と八景中学校を統合することにより、生徒にとって望ましい学校規模を確保し、教育環境の充実を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆基本構想・基本計画、事業手法検討調査業務 770万円（債務負担行為：R7 1,440万円）
- ◆用地補償総合技術支援業務 2,271万円（債務負担行為：R7～R8 9,807万円）
- ◆その他事務費 12万円

※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

事業費		3,053万円
財源	国・県	-
	市債	2,040万円
	基金	231万円
	市税等	782万円

### ② 【拡】外国人語学指導員配置事業（学校教育課）

#### 《事業の目的》

三田市立学校園に在籍する幼児児童生徒が、母語及び日本語によるコミュニケーション能力を高め、安心して学校園生活を送れるように支援します。

#### 《事業の内容》

- ◆日本語が話せないことで日常生活に支障が生じる、または活動や学習等に困難が見られる幼児児童生徒に、母語支援ができる指導員を派遣します。

事業費		363万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	363万円



### ③ 【拡】不登校等対策事業（学校教育課）

#### 《事業の目的》

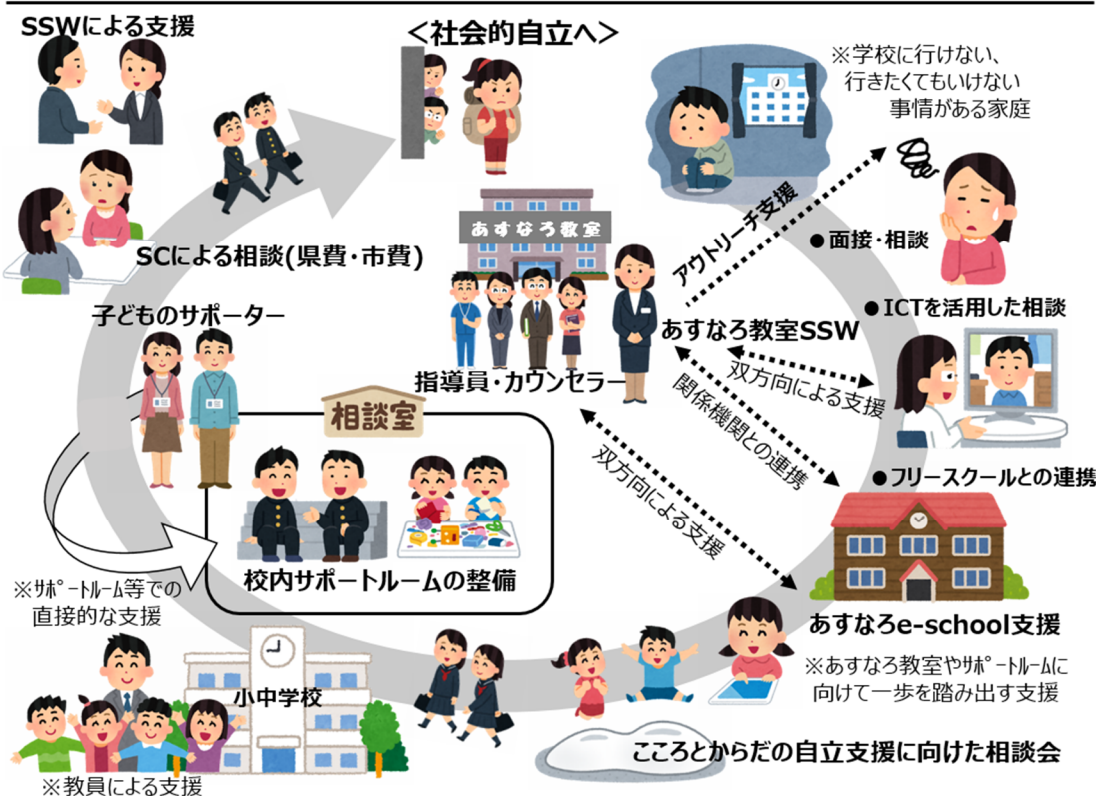
不登校や別室登校の児童生徒等への対応と支援を充実することで、一人一人に応じたアプローチを行い、社会的自立につなげます。

#### 《事業の内容》

- ◆子どものサポーター、子どものこころの支援員の充実 1,365万円  
中学校に「子どものサポーター」、小学校に「子どものこころの支援員」を追加配置し（名称を「子どものサポーター」に統一）、校内サポートルームで個に応じた学習支援や生活の支援等を行います。
- ◆校内サポートルームの整備 200万円  
クラスに入れない時や、リラックスしたい時に利用できる部屋の整備を行い、児童生徒のペースに合わせて「子どものサポーター」等が相談や学習のサポートを行います。
- ◆あすなる教室スクールソーシャルワーカー（SSW）の新規配置 236万円  
アウトリーチによる相談や支援の充実、関係機関との連携強化を図ります。
- ◆市費スクールカウンセラー（SC）の充実 594万円  
県費SCが対応している小学校で、相談件数が多い小学校に追加配置することにより、保護者へのきめの細かい相談体制を整えます。
- ◆あすなるe-schoolによる支援の充実 7万円  
大阪教育大学と連携し、AIチャットによる支援アプリ事業の研究をするとともに、メタバース空間を活用し、人とつながる支援を行います。
- ◆各小中学校SSW、あすなる教室カウンセラー配置 1,133万円
- ◆その他報償費、あすなる教室運営費など 410万円

事業費		3,945万円
財源	国・県	945万円
	市債	-
	諸収入	56万円
	市税等	2,944万円

#### 三田市がすすめる不登校対策事業



#### ④ 【拡】 小学校水泳授業民間施設利用事業（教育研修所）

##### 《事業の目的》

近隣の民間施設を活用して水泳授業を実施することで、児童の水泳技能の向上、水泳指導に関する教員の負担とプール維持管理コストの低減を図ります。

##### 《事業の内容》

- ◆近隣のスポーツ施設で水泳授業を行い、専門水泳指導員から泳法を学びます。対象となる小学校をR5の1校（三輪小）からR6は8校に拡大します。（志手原小、小野小、高平小、母子小、松が丘小、富士小、弥生小で新たに実施）

事業費		1,022万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	1,022万円

#### ⑤ 【拡】 学校給食費保護者負担軽減事業（学校給食課）

##### 《事業の目的》

物価上昇により給食材料費が不足する状況の中、充実した学校給食の提供のために実施する給食費の改定に対して保護者の負担の軽減を図ります。

##### 《事業の内容》

- ◆給食費の値上げ相当分について、市が激変緩和措置として負担します。
- ◆法令に基づき保護者負担を求めてきた調理に伴う燃料代の全てと上下水道料金の1/4について、給食費の値上げ幅を抑制するため、今後は市が負担することとします。

※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

事業費		1億401万円
財源	国・県	-
	市債	-
	基金	3,787万円
	市税等	6,614万円

#### ⑥ 【拡】 安全なさんだの食材等学校給食活用事業（学校給食課）

##### 《事業の目的》

学校給食に三田で採れた農産物を活用し、地産地消を推進することで、三田っ子として豊かな自然に育まれていることを学びます。

##### 《事業の内容》

- ◆三田の特産品（黒豆、うど、母子茶など）を献立に取り入れることで、三田の農産物について学ぶ食育の機会とします。
- ◆地場野菜を市が一定の価格で買い取ることにより、農家の生産を後押しし、生産量の安定と給食への活用機会の増加を図ります。

※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

事業費		143万円
財源	国・県	-
	市債	-
	基金	143万円
	市税等	-



## カ 若者が集うまち

### ① 【拡】さんだ移住・定住促進アクションプログラム関連事業（各所管課）

#### 《事業の目的》

三田のまちを暮らしやすく、いつまでも住み続けられる「魅力あるまち」として市内外に広く周知するとともに、市内の若者の定住や市外からの移住を後押しする移住・定住支援施策を展開します。それにより、市内からの転出者を減らし、市外からの移住者を増やします。

事業費		3,736万円
財源	国・県	1,920万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	1,816万円

#### 《事業の内容》

～ 三田に“来て・見て・暮らす”応援パッケージ ～ 2,605万円

(財源：国・県 1,160万円、市税等 1,445万円)

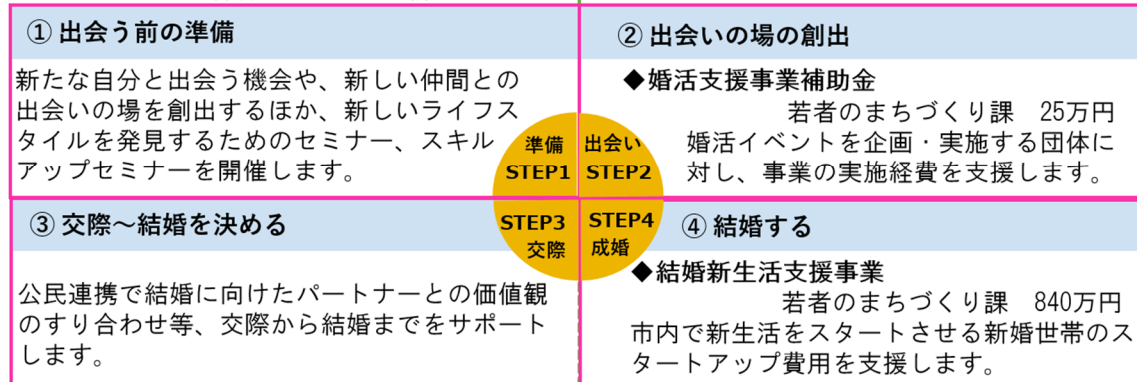
- ◆オンライン移住体験ツアー (若者のまちづくり課) 83万円
- ◆【拡】うえるかむ三田補助事業 (若者のまちづくり課) 40万円
- ◆移住支援金 (若者のまちづくり課) 440万円
- ◆住み替え支援補助事業 (若者のまちづくり課) 870万円
- ◆空き家リフォーム補助事業 (都市政策課) 1,025万円
- ◆移住相談会、住まいの相談会、広報啓発他事務経費 (若者のまちづくり課) 147万円

～ さんだ出会い応援プロジェクト ～ 1,131万円

(財源：国・県 760万円、市税等 371万円)

新たな自分と出会う機会や、新しい仲間との出会いの場を創出するほか、新しいライフスタイルを発見するためのセミナー等を開催します。その上で交際から結婚までのプロセスをサポートすることで結婚を望む人が幸せな未来を築けるよう総合的に支援します。

#### ◆【新】企業等と連携した出会い・結婚支援事業 若者のまちづくり課 266万円



### ② 【拡】学生のまちづくり支援事業（若者のまちづくり課）

#### 《事業の目的》

地域での起業や地域活動をきっかけとして、若者がまちに関わり、三田に愛着を持つことができる事業を一体的に実施し、定住促進につなげます。

事業費		475万円
財源	国・県	236万円
	市債	-
	諸収入	3万円
	市税等	236万円

#### 《事業の内容》

- ◆学生のまちづくり支援業務委託
  - ・【拡】地域活躍人材育成プログラム（スモカモスプロジェクト）
  - ・まちなか学生拠点活動
  - ・学生サミット開催
  - ・学生まちづくり活動、相談支援

## キ いつまでも学び、活躍できるまちづくり

### ① 【拡】さんだ生涯学習カレッジ運営事業（いきいき高齢者支援課）

#### 《事業の目的》

シニア層を対象に生涯学習の機会を提供することで、受講生が地域社会で「生きがいつくり」「人づくり」「地域づくり」を目指した様々な活動を行えるよう支援し、いきいきと暮らせるきっかけをつくります。

事業費		729万円
財源	国・県	-
	市債	-
	諸収入	231万円
	市税等	498万円

#### 《事業の内容》

- ◆クラブ活動の回数をコロナ禍前の年10回+発表会・展示会とするとともに、所属可能なクラブを2クラブから3クラブとし、仲間づくりを通じた学生生活の基盤を強化します。

## (2) 支えあい、安全安心に暮らせるまち



### ア 地域医療の安心

### ① 市民病院事業会計支出金（財政課）

#### 《事業の目的》

三田市民病院は地域の中核病院として救急を中心とする急性期医療を担っており、地域医療に貢献しています。

今後も良質な高度医療で、地域に安心な医療を提供し市民のみなさんの支えとなる病院であり続けるため、一般会計からの支援を行います。

事業費		16億円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	16億円

#### 《事業の内容》

- ◆地方公営企業への繰出基準に基づくもの 14億 394万円
  - ・救急医療に要する経費 3億 9,870万円
  - ・高度医療に要する経費 1億 4,666万円
  - ・小児医療に要する経費 7,379万円
  - ・建設改良に係る企業債の償還経費等 7億 8,479万円
- ◆市独自支援 1億 1,089万円
  - ・市民病院経営安定化支援分 9,949万円
  - ・医師修学資金貸与制度 1,140万円
- ◆新統合病院整備関連事業に対する支援 8,517万円
  - ・基本設計基礎調査事業費 4,600万円
  - ・基本設計・実施設計策定事業費 100万円
  - ・整備支援（コンストラクション・マネジメント）事業費 2,000万円
  - ・開院支援事業費 1,800万円
  - ・償還金（令和5年度新統合病院整備候補地基礎調査分） 17万円

## ② 【拡】新統合病院整備関連事業（地域医療推進課・市民病院事務局）

### 《事業の目的》

医師の確保や施設の老朽化の課題を解決し、市民の命を将来にわたって守り抜くため、三田市民病院と済生会兵庫県病院を再編統合し、新統合病院を整備することにより、三田・北神地域の急性期医療の充実を目指します。

事業費		2億2,582万円
財源	国・県	-
	市債	1億1,300万円
	その他	-
	市税等	1億1,282万円

### 《事業の内容》

- ◆新統合病院基本計画等策定事業（地域医療推進課）  
高齢化に伴う医療需要の増加等を見据え、三田・北神地域の急性期医療の充実を図るため、新統合病院の詳細な医療機能等を定めた基本計画等を策定します。 473万円  
[全体事業費] 令和4～6年度 総額：2,163万円
- ◆現三田市民病院跡地活用調査事業（地域医療推進課）  
現在、策定を進めている（仮称）現三田市民病院跡地活用方針について、市民意見交換会を実施します。 27万円  
[全体事業費] 令和5～6年度 総額：1,226万円
- ◆現三田市民病院跡地活用事業者選定事業（地域医療推進課）  
現三田市民病院の施設等を有効に活用し、市民サービスの向上を図るため、現三田市民病院における跡地活用の事業者（候補者）選定を行います。 2,282万円  
[全体事業費] 令和6～7年度 総額：2,752万円
- ◆新統合病院整備候補地基礎調査事業（市民病院事務局）  
新統合病院の整備候補地に係る用地測量、物件調査、農業廃止補償調査、土地鑑定評価、地図訂正・地積更正申請手続業務及び土地収用法に基づく事業認定の事前相談支援、申請図書を作成等を行います。 1億1,300万円  
[財源] 令和6年度以降病院事業債（特別分）を活用します。  
[全体事業費] 令和5～7年度 総額：1億6,000万円
- ◆新統合病院基本設計基礎調査事業（市民病院事務局）  
基本設計に必要な課題を整理し、各種の調査業務及び各種の申請に係る事前協議を行います。また、建築及び土木工事の基本設計に必要な条件を取りまとめます。 4,600万円\*
- ◆新統合病院基本設計・実施設計策定事業（市民病院事務局）  
新統合病院の基本設計及び実施設計を行います。 100万円\*  
[全体事業費] 令和6～8年度 総額：8億5,400万円
- ◆新統合病院整備支援（コンストラクション・マネジメント）事業（市民病院事務局）  
コンストラクション・マネジメントとは、建設事業において発注者の側に立ち、専門家として建設事業の質を高めるための支援のことを言います。本事業では、企画・設計・発注等の各段階において、コスト削減、品質確保、工程・情報等の管理を行います。 2,000万円\*  
[全体事業費] 令和6～8年度 総額：8,300万円
- ◆新統合病院開院支援事業（市民病院事務局）  
設計・施工・開院準備の各段階で必要となる医療機器・什器・備品整備、医療情報システム整備、物流管理システム整備、開院準備及び移転業務等について専門的な視点からの支援を受け、円滑な推進に向けた方策を講じます。 1,800万円\*  
[全体事業費] 令和6～7年度 総額：6,700万円

\*：一般会計繰出対象

### ③ 【新】医療人材育成事業（地域医療推進課）

#### 《事業の目的》

将来にわたって安定的な医療提供体制を確保するため、医療に対する興味と関心を喚起し、医療関係への進路選択を推奨することで、未来の医療人材の育成・確保につなげていきます。

#### 《事業の内容》

市内在住・在学の高校生を対象に講演会等を行います。

- ◆講演会・意見交換会
- ◆サイエンスツアー

事業費		200万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	200万円

## イ 生活の安全安心・非常時への備え

### ① 【新】被災者支援システム運用事業（危機管理課）

#### 《事業の目的》

災害発生時に被災者情報を一元管理できるシステムを導入し、迅速かつ効率的に被災者を支援できる体制を構築します。

#### 《事業の内容》

被災者支援システムを導入し、あわせて運用する職員の研修を行います。

- ◆システム導入費用（職員研修含む） 1,353万円
- ◆備品購入費用 85万円
- ◆事務費 24万円

事業費		1,462万円
財源	国・県	-
	市債	970万円
	その他	-
	市税等	492万円

### ② 【拡】避難所環境整備事業（危機管理課）

#### 《事業の目的》

「さんだ防災強化プログラム」に基づき、プライバシー保護や女性の視点に立った避難所の環境整備を図り、多様なニーズに配慮した避難所運営を推進します。

#### 《事業の内容》

500人分のパーテーションや簡易ベッドを備蓄します。

（最大発生避難者4,700人分の約10%）

- ◆パーテーション、簡易ベッド購入費用

事業費		1,218万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	1,218万円

③ 城山体育館の大規模改修及び空調設置工事  
・ 駒ヶ谷体育館の電気設備及び空調設置工事（公園みどり課）

《事業の目的》

老朽化による城山体育館の大規模改修、駒ヶ谷体育館の電気設備工事を行い、施設の長寿命化及び予防保全を図るとともに、アリーナ部分に空調を設置し、体育館利用者の熱中症対策及び大規模災害時における避難所の環境改善を図ります。

事業費		7億978万円
財源	国・県	-
	市債	6億9,340万円
	基金	1,638万円
	市税等	-

《事業の内容》

- ◆城山体育館の大規模改修及び空調設置工事
- ◆駒ヶ谷体育館の電気設備及び空調設置工事

5億6,527万円  
1億4,451万円  
(債務負担行為：R7 2億1,677万円)

※公共施設等整備基金を活用して実施します

④ 【新】自動録音電話機等普及促進事業（協働推進課）

《事業の目的》

特殊詐欺被害対策として有効な自動録音電話機等の購入費用を助成し、普及を促進することで、高齢者を狙う特殊詐欺等の犯罪被害及び消費者被害を未然に防止します。

事業費		651万円
財源	国・県	651万円
	市債	-
	基金	-
	市税等	-

《事業の内容》

65歳以上の高齢者世帯が自動警告・自動録音機能の付いた固定電話機または外付け録音機を購入する場合に、その費用を助成します（助成額上限あり）。

- ◆自動録音電話機等購入費補助金 600万円
- ◆事務費等 51万円

⑤ 消防指令業務共同運用事業（消防本部）

《事業の目的》

三田市と神戸市で消防指令業務を共同運用することで、システム更新費用の低減と消防力の強化、相互応援出動の迅速化を図り、消防体制を充実させます。

事業費		1億4,701万円
財源	国・県	-
	市債	1億4,700万円
	その他	-
	市税等	1万円

《事業の内容》

令和9年度の共同運用開始に向けて、システム整備を進めます。

- ◆神戸市に対する負担金  
(債務負担行為〈システム導入〉：R7～R8 607万円)  
(債務負担行為〈整備・管理費〉：R7～R13 7億1,291万円)



## ⑥ 消防指揮車の更新（消防本部）

### 《事業の目的》

老朽化した消防指揮車を更新することで、消防力を強化し、市民の安全・安心を守ります。

### 《事業の内容》

- ◆車両購入費 1,803万円
- ◆重量税等事務費 24万円

※消防指揮車とは、火災や救助・救急事故等の災害現場において、複数の消防隊の部隊活動を統括する責任者が乗務する車両です。

事業費		1,827万円
財源	国・県	-
	市債	1,620万円
	その他	-
	市税等	207万円

## ウ 子ども・子育ての安心

### ① 【拡】産後の母子への支援の充実（すくすく子育て課）

#### 《事業の目的》

産婦健診の助成回数を増やすことで、産後間もない時期の健康診査の機会を拡充します。

また、産後ケアの対象者及び利用日数の拡充や利用料の減額をすることで、産後の母子の専門的ケアの充実を図ります。

あわせて、家事・育児ヘルパーの派遣回数を増やすことで、産後間もない心身への負担が大きい家庭への支援の充実を図ります。

事業費		1,124万円
財源	国・県	574万円
	基金	128万円
	諸収入	67万円
	市税等	355万円

#### 《事業の内容》

- ◆【拡】産婦健康診査助成事業 560万円
  - \*助成回数を1回→2回に拡充（助成金額：5,000円/回）

- ◆【拡】産後ケア事業 294万円
  - \*対象者：産後の体調不良や育児不安等がある概ね産後4か月までの母子→概ね産後1年までの母子に拡充

\*利用日数：下記の内容に拡充

・訪問型：4日→7日

\*多胎児の場合・訪問型：4日→10日利用可能

・宿泊型・通所型：合わせて7日→合わせて10日利用可能

\*利用料：下記の内容に減額

・宿泊型：5,000円→3,000円（1日あたり）

・通所型3時間コース：2,000円→1,000円（1回あたり）

・通所型6時間コース：3,000円→2,000円（1回あたり）

・訪問型：2,000円→1,000円（1回あたり）

- ◆【拡】産後ヘルパー事業 270万円

\*利用上限時間を4回（8時間）→20回（40時間）に拡充

\*多胎児の場合は、利用上限時間を8回（16時間）→40回（80時間）

## ② 【拡】子ども家庭センター相談支援体制の強化（子ども家庭課）

### 《事業の目的》

年々増加、多様化する子育て支援ニーズに対して伴走型の相談・支援を拡充するため、改正児童福祉法等の施行（R6.4.1）に合わせて、令和5年度から先行設置している「子ども家庭センター」の相談支援体制を強化します。

事業費		543万円
財源	国・県	283万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	260万円

（注）人件費除く

### 《事業の内容》

- ◆【新】家庭児童相談室に「子ども家庭支援員（任期付職員）」を2名配置
- ◆【新】親子関係形成支援事業（ペアレントトレーニング等）の実施
  - ※R5年度試行
  - ※ペアレントトレーニングとは、親の子どもへのかかわり方等の養育スキルを身につけることで、子どもの不適切な行動を改善し、健やかな成長を促進していくことを目的とした心理教育的アプローチです。

## エ 高齢者の安心

### ① 介護保険料の見直し（介護保険課）

#### 《事業の目的》

65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料は、介護保険事業計画のもと3年ごとに見直します。介護保険制度の持続可能性を確保する観点から、65歳以上の方の間での所得再配分機能を強化することで、低所得者の保険料上昇の抑制を図ります。

また、基金の取崩しにより、保険料基準額を引下げし、65歳以上の方の負担軽減を図ります。

#### 《事業の内容》

	第8期(R3～5)		第9期(R6～8)
◆介護保険料基準額(年額)	67,450円	→	63,310円
◆保険料段階の多段階化	11段階	→	14段階
◆高所得者の乗率の引上げ	2.1(第11段階)	→	2.4(第14段階)
◆低所得者の乗率の引下げ	[第1段階] 0.3	→	0.285
	[第2段階] 0.5	→	0.485
	[第3段階] 0.7	→	0.685

### ② 【拡】介護人材育成支援事業（介護保険課）

#### 《事業の目的》

介護職員として求められる資格の取得に係る費用の一部助成に加え、新たに介護支援専門員（ケアマネジャー）の更新に係る費用の一部を助成します。

また、市内の複数法人が共同で実施する人材確保や介護職場のイメージアップを図る費用の一部を助成することで、増大するニーズに対応した質の高い介護人材の確保を進めます。

事業費		120万円
財源	国・県	56万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	64万円

#### 《事業の内容》

- ◆初任者研修・実務者研修受講に要する費用助成 75万円
- ◆介護支援専門員・主任介護支援専門員研修受講に要する費用助成 25万円
- ◆介護職場見学会等の介護職場のイメージアップを図る費用助成 20万円

## オ 障害のある人の安心

### ① 【新】失語症者向け意思疎通支援者派遣事業（障害福祉課）

#### 《事業の目的》

意思疎通が困難な失語症者のコミュニケーションをサポートする、意思疎通支援者の派遣体制を構築することで、社会生活を円滑に行えるように支援します。

#### 《事業の内容》

失語症者のもとへ意思疎通支援者を派遣します。

#### ◆派遣費用

事業費		34万円
財源	国・県	15万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	19万円

### ② 【拡】重度障害者外出支援事業（障害福祉課）

#### 《事業の目的》

現在、重度心身障害者の外出を支援するために、タクシー料金の助成利用券を交付していますが、令和6年度より利用券1枚あたり500円に変更し、利用をしやすくするとともに、総額を増額することにより事業のさらなる充実を図ります。

#### 《事業の内容》

以下の枚数のタクシー料金助成利用券を重度心身障害者に交付します。

- ・R5年度まで：タクシー料金助成利用券 580円/枚×48枚/年=27,840円
- ・R6年度より：タクシー料金助成利用券 500円/枚×60枚/年=30,000円

#### ◆タクシー料金助成費用等

事業費		1,896万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	1,896万円

## カ 心つながる暮らしの安心

### ① 【拡】自殺対策事業（地域福祉課）

#### 《事業の目的》

第2次三田市自殺対策計画に基づき、「誰も自殺に追い込まれることのないまち さんだの実現」に向けて、いのちを支え、つなげる包括支援に取り組みます。

#### 《事業の内容》

- ◆自殺予防の普及啓発 26万円
- ◆自殺予防の人材育成 10万円
  - ・ゲートキーパー養成研修対象者の拡大(民生委員・児童委員等)
- ◆中学校等で取り組む自殺予防支援事業 13万円
  - ・思春期に抱える不安や悩みに対して、適切に対処していく力を身に付けるための講習会等の実施

事業費		49万円
財源	国・県	13万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	36万円

### (3) “三田らしい” 活力と交流のあるまち



#### ア 商工業の振興

##### ① 起業・創業支援事業（産業政策課）

###### 《事業の目的》

起業への意識醸成から起業後のフォローまで切れ目のない支援を行い、多分野で活躍できる起業者の発掘、育成による新たな価値の創造やまちの活性化を図ります。

###### 《事業の内容》

- ◆高校生キャリアデザインアカデミー
- ◆起業・創業情報の発信
- ◆起業家育成海外プログラム
- ◆トライアルショップ事業
- ◆チャレンジショップ応援事業
- ◆商工会創業支援事業等補助

事業費		966万円
財源	国・県	-
	市債	-
	諸収入	2万円
	市税等	964万円

20万円  
5万円  
108万円  
10万円  
200万円  
623万円

#### イ 農業の振興

##### ① 【新】地域計画推進事業（農業創造課）

###### 《事業の目的》

次の世代に農地を着実に引き継いでいくため、目指すべき将来の農地利用の姿を明確にする地域計画の策定に向けた取り組みを推進します。

###### 《事業の内容》

- ◆地域計画アドバイザー及び策定農会への報償金 232万円
- ◆目標地図・計画書作成業務委託、地域計画管理システム（GIS）導入経費 648万円

事業費		880万円
財源	国・県	499万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	381万円

##### ② 【新】農機具バンク制度（農業創造課）

###### 《事業の目的》

機械更新等に伴い不要となった農業機械を多様な担い手等へ譲渡する仕組みづくりを行い、就農開始時における負担の軽減を図ります。

###### 《事業の内容》

- ◆農機具バンクの設置・運営費

事業費		10万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	10万円

## ウ 観光・交流・文化の振興

### ① 千丈寺湖畔再生プロジェクト推進事業（アウトドア交流推進課）

#### 《事業の目的》

千丈寺湖畔の優れたロケーションや豊かな自然環境を活かした公民連携による賑わい創出の取り組みとして、地域資源を活用したソフト事業等を展開し、周辺地域の活性化を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆体験型プログラム実施費用
- ◆プロジェクト推進に向けた情報発信費用

事業費		112万円
財源	国・県	55万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	57万円

52万円  
60万円

### ② 大阪・関西万博交流推進事業（アウトドア交流推進課）

#### 《事業の目的》

大阪・関西万博の開催にあわせ、兵庫県等と連携して本市の魅力発信や来訪機会を創出するため、ひょうごフィールドパビリオンをはじめとした取り組みを官民連携で推進し、交流人口の増加等を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆万博会場等で配信する魅力発信動画作成費用 100万円
- ◆開催100日前イベント等、万博開催に向けた機運醸成費用 42万円

事業費		142万円
財源	国・県	65万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	77万円

### ③ 総合文化センター改修基本方針策定事業（文化スポーツ課）

#### 《事業の目的》

社会経済情勢を踏まえた改修PFI事業のスケジュールの見直しに伴い、これまでのPFI事業の検証を行うとともに、施設・設備・舞台機構等の改修内容を再精査し、ホール像の具体化を図ります。

#### 《事業の内容》

- ◆改修基本方針策定業務委託 1,427万円
- ◆三田市総合文化センター施設整備・運営事業者選定委員会経費 22万円

事業費		1,449万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	1,449万円



#### (4) 「まち」の基盤が整い、暮らしやすいまち ア まちの再生



##### ① 【拡】ニュータウン再生事業（都市政策課）

###### 《事業の目的》

ニュータウン再生モデル事業として「フラワータウン再生アクションプラン」に基づいた取り組みを引き続き推進します。R6年度はフラワータウン駅周辺のセンター地区を活性化し、新たな魅力の創出に必要な機能を検証する目的で、関係者が連携した社会実験を行います。

また、つつじが丘地区においては、地域住民、開発事業者、市が意識の醸成やその方向性の共有を図るため、ニュータウン再生に向けた勉強会を実施します。

###### 《事業の内容》

- ◆まちづくりの新たな担い手創出支援業務委託 500万円
- ◆フラワータウン活性化に関する社会実験実施補助 550万円
- ◆まちづくりワークショップ・デザイン委託費用 222万円
- ◆つつじが丘まちづくり勉強会に関する費用及びその他事務費 70万円

事業費		1,342万円
財源	国・県	250万円
	市債	-
	その他	-
	市税等	1,092万円

##### ② 三田駅前Cブロック地区推進事業（都市整備課）

###### 《事業の目的》

Aブロック（三田駅前一番館等）、Bブロック（三田駅前ハートシティ）、Dブロック（レバンテ三田）との相乗効果により、三田駅前の活性化と都市機能の充実を図るため、Cブロック地区の整備を促進します。

###### 《事業の内容》

三田駅前Cブロック地区市街地再開発事業にかかる各種調査、補償、除却・施設工事等を実施する施行者に公共施設管理者負担金、補助金等を交付します。

- ◆公共施設管理者負担金 5億2,000万円
- ◆市街地再開発事業費補助金 3億220万円
- ◆事務費等 50万円

事業費		8億2,270万円
財源	国・県	4億5,370万円
	市債	3億5,110万円
	その他	-
	市税等	1,790万円

##### ③ 広野駅西地区、相野駅北地区まちづくり計画（都市整備課）

###### 《事業の目的》

広野駅西地区、相野駅北地区の住民により取り組まれている地域に根ざしたまちづくり活動を支援し、土地利用等の推進を図ります。

###### 《事業の内容》

- ◆広野駅西地区土地区画整理事業認可申請等業務 703万円
- ◆相野駅北地区準備組合運営支援業務 107万円
- ◆事務費等 57万円

事業費		867万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	867万円

## イ 交通ネットワーク

### ① 新モビリティ実証実験推進事業（交通まちづくり課）

#### 《事業の目的》

フラワータウンにおいて、新モビリティを活用し商業施設等が集積するまちの中心部までの移動手段を確保しまちの賑わい創出することで、誰もが住みよいまちの実現を目指します。

#### 《事業の内容》

- ◆新モビリティを運行する団体に対する支援

事業費		263万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	263万円

### ② 【拡】地域外出支援おでかけサポート事業（交通まちづくり課）

#### 《事業の目的》

交通不便地において、地域住民との共創により、地域の実情に応じた持続可能な地域内交通の導入を進めます。

#### 《事業の内容》

- ◆【拡】交通空白地有償運送事業 844万円  
(広野地区・小野地区・岩倉地区及び周辺地区 (R6 開始予定))
- ◆地域内交通試験運行 100万円
- ◆地域外出支援活動事業補助 30万円

事業費		974万円
財源	国・県	-
	市債	-
	使用料	43万円
	市税等	931万円

## (5) 「さと」の恵みを守り、活かすまち ア 里山・自然の保全



### ① 【拡】街路樹適正化事業（道路河川課・公園みどり課）

#### 《事業の目的》

大木化や密集している街路樹を伐採及び剪定することで、魅力ある緑景観を守りながら、街路樹を持続的かつ適切に育成・管理していきます。

#### 《事業の内容》

- ◆街路樹適正化に係る合意形成支援業務（道路河川課） 150万円
- ◆街路樹伐採事業（道路河川課） 4,000万円
- ◆街路樹剪定事業（公園みどり課） 3,345万円

事業費		7,495万円
財源	国・県	-
	市債	-
	基金	2,000万円
	市税等	5,495万円

※北摂三田ニュータウン施設整備管理基金を活用して実施します。

## ② 木の駅プロジェクト推進事業（里山のまちづくり課）

## 《事業の目的》

里山林整備や街路樹伐採等により発生する伐採木を薪、チップ等に加工・販売する仕組みづくりを進め、資源循環型社会につながる里山林管理を目指します。

## 《事業の内容》

## ◆【新】森林現況調査費

高齢化の進展等に伴い地域で山林境界を知る人が減っていることから、集落周辺里山林整備事業の実施にあたり、事前に事業予定地を調査し地番推定図を作成します。

## ◆集落周辺里山林整備事業

## ◆里山林整備担い手育成講座

## ◆木の駅プロジェクト関係団体・企業等情報・意見交換経費

事業費		537万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	537万円

198万円

316万円

13万円

10万円

③ 【新】道路・公園・環境パトロールの一元化  
（道路河川課・公園みどり課・環境創造課）

## 《事業の目的》

民間事業者の専門性や優れたノウハウを活用し、道路・公園・環境パトロールを効率的かつ効果的に実施するため、業務委託によるパトロール業務の一元化を行います。

## 《事業の内容》

## ◆道路・公園・環境パトロールの一元化

2,400万円

（債務負担行為：R7～8 9,600万円）

- ・道路パトロール…市道巡視、通行制限などの応急対応及び補修、安全施設点検等
- ・公園パトロール…公園巡視、遊具簡易点検、不具合箇所の応急対応等
- ・環境パトロール…ポイ捨てゴミ、不法投棄物などの回収、啓発看板設置等

事業費		2,400万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	2,400万円

## イ 持続可能な環境づくり

（項目削除）

## ② 新ごみ処理施設整備事業（クリーンセンター）

### 《事業の目的》

経済性に優れた廃棄物処理や最新鋭の技術による環境負荷の最小化を可能にする新ごみ処理施設の整備を進め、安全・安心な市民生活を維持していきます。

### 《特徴》

- ・ごみ焼却時の熱エネルギーを利用した発電
- ・資源・エネルギーの循環を学べる施設
- ・耐震性に優れ、大地震発生時でも持続運転可能

### 《事業の内容》

- ◆新施設整備に係る監理業務委託 5,500万円  
（議決済債務負担行為：R5～10 2億4,750万円）
- ◆新施設整備に係る準備工事 2億4,530万円  
（議決済債務負担行為：R5～29 389億1,552万円）
- ◆その他事務経費 14万円

※公共施設等整備基金を活用して実施します。

事業費		3億44万円
財源	国・県	-
	市債	2億2,510万円
	基金	6,140万円
	市税等	1,394万円

## ③ 【新】さんだゼロカーボンチャレンジ周知啓発事業（環境創造課）

### 《事業の目的》

多様なゼロカーボンアクション（脱炭素行動）について楽しく学べる市民向けセミナーや、事業所のひとつである三田市役所職員向けの研修を開催し、ゼロカーボンシティの実現に向けた一人ひとりの環境への意識付けと行動変容を促します。

### 《事業の内容》

- ◆親子向けセミナーの開催 15万円
- ◆「健康×ゼロカーボン」セミナーの開催 17万円
- ◆市職員向け「働き方改革×DX化×ゼロカーボン」研修の実施 3万円

事業費		35万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	35万円

## (6) その他

### ア 協働・共創のまちづくり

## ① 【新】タウンミーティング事業（総務課）

### 《事業の目的》

座談会などの形式で、市政に関する市民の声を市長が直接聴く機会を設け、市政運営に活かすことで「市民本位の市政」を実現します。

### 《事業の内容》

- 市内公共施設で年8回程度のタウンミーティングを実施します。
- ◆タウンミーティング開催費（消耗品・会場使用料） 10万円
- ◆タウンミーティング動画作成費 70万円

事業費		80万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	80万円

## ② 【拡】 市政情報動画作成事業（秘書広報課）

### 《事業の目的》

市広報誌、市公式ホームページに加え、動画コンテンツを作成し、SNSでの発信を充実させることで、市政の動きが幅広い世代にわかりやすく伝わるよう情報発信の強化を図ります。

### 《事業の内容》

- ◆出演者への謝礼金 6万円
- ◆動画撮影・編集委託費 90万円

事業費		96万円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	96万円

## イ 公共施設マネジメント

### ① 公共施設維持補修事業（各施設所管課）

#### 《事業の目的》

各施設の目的・用途等を考慮し、その機能を維持するとともに、利用者の安全・安心な施設利用を図るために必要な改修等を行います。

#### 《事業の内容》

- ◆市民センター大規模改修工事（協働推進課） 10億3,451万円
  - ・高平ふるさと交流センター 1億5,423万円  
（財源：市債1億3,620万円、基金1,520万円、市税等283万円）
  - ・さんだ市民センター 5億5,669万円  
（財源：市債4億9,670万円、基金5,534万円、市税等465万円）
  - ・フラワータウン市民センター 3億2,359万円  
（財源：市債2億9,080万円、基金3,240万円、市税等39万円）  
（債務負担行為：R7 4億8,480万円）
- ◆ウッディタウン市民センター空調・照明設備等工事（協働推進課） 1億5,300万円  
（財源：市債1億5,300万円）
- ◆総合福祉保健センター屋根・外壁等改修工事設計（健康増進課） 1,800万円  
（財源：市債1,620万円、市税等180万円）
- ◆三輪明神窯史跡園空調設備等改修工事（文化スポーツ課） 1,480万円  
（財源：市債1,330万円、市税等150万円）
- ◆野外活動センターつどい橋拡幅工事（文化スポーツ課） 4,320万円  
（財源：市債3,880万円、市税等440万円）
- ◆ごみ処理施設、修繕等（クリーンセンター） 1億8,278万円  
（財源：基金1億8,278万円）
  - ・ごみクレーンクラブ・炉内耐火レンガ交換、炉内温度調整設備修繕等
- ◆リサイクルセンター施設、修繕等（クリーンセンター） 8,506万円  
（財源：市債7,840万円、基金531万円、市税等135万円）
  - ・ペットボトル容積圧縮機・破袋機等設備更新

事業費		23億3,860万円
財源	国・県	-
	市債	19億7,410万円
	基金	3億741万円
	市税等	5,709万円



- ◆環境センター施設点検、修繕等（クリーンセンター） 9,747万円  
（財源：市債5,730万円、市税等4,017万円）  
・下水污泥焼却炉耐火レンガ交換、修繕等
- ◆城山体育館の大規模改修及び空調設置工事・  
駒ヶ谷体育館の電気設備及び空調設置工事（公園みどり課）【P29参照】7億978万円  
（財源：市債6億9,340万円、基金1,638万円）

※公共施設等整備基金を活用して実施します。

## ② 幼稚園・小中学校施設改修事業（幼児教育振興課・教育総務課）

### 《事業の目的》

園・校舎などの大規模改修工事等を行うことで、子どもたちの安全・安心で質の高い学校園生活を確保し、教育環境の充実を図ります。

事業費		6億7,182万円
財源	国・県	1億116万円
	市債	5億5,720万円
	基金	1,288万円
	市税等	58万円

### 《事業の主な内容》

- ◆三田幼稚園大規模改修工事設計 1,910万円  
（財源：市債1,710万円、基金200万円）  
・施設概要 築48年（昭和51年）、鉄筋コンクリート造1階建て  
延床面積1,019㎡  
・R6：工事設計 ・R7～R8：改修工事
- ◆三輪小学校大規模改修工事【3月補正】 4億8,476万円  
（財源：国7,405万円、市債4億1,070万円、市税等1万円）  
・施設概要 築58年（昭和41年）、鉄筋コンクリート造3階建て  
延床面積5,758㎡  
・R6～R7：改修工事
- ◆三田小学校大規模改修工事設計 7,398万円  
（財源：市債6,650万円、基金748万円）  
・施設概要 築52年（昭和47年）、鉄筋コンクリート造4階建て  
延床面積7,204㎡  
・R6：工事設計 ・R7～R8：改修工事
- ◆松が丘小学校照明器具改修工事【3月補正】 3,105万円  
（財源：国968万円、市債2,130万円、市税等7万円）
- ◆ゆりのき台小学校照明器具改修工事【3月補正】 4,953万円  
（財源：国1,743万円、市債3,200万円、市税等10万円）
- ◆あかしあ台小学校エレベーター設置工事設計 659万円  
（財源：市債470万円、基金169万円、市税等20万円）
- ◆ゆりのき台中学校エレベーター設置工事設計 681万円  
（財源：市債490万円、基金171万円、市税等20万円）

※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。

### ③ 小中学校施設維持補修事業（教育総務課）

#### 《事業の目的》

老朽化が進む小中学校の施設や設備の維持補修等を適切に実施し、児童生徒が安全かつ円滑に学校生活を送れる環境を整備します。

#### 《事業の主な内容》

- ◆校舎雨漏り修繕
    - ・小学校 5 校
  - ◆プールろ過装置修繕
    - ・小学校 6 校・中学校 3 校
  - ◆プールサイド修繕
    - ・小学校 1 校
  - ◆放送設備取替修繕
    - ・小学校 2 校・中学校 1 校
  - ◆太陽光発電設備修繕
    - ・小学校 1 校
- 小学校 2,000 万円  
中学校 800 万円  
(財源：市税等 2,800 万円)
- ◆小・中学校トイレ洋式化工事（114 基） 5,141 万円  
(財源：市債 3,850 万円、基金 1,291 万円)  
※ありがとうございます！三田っ子応援基金を活用して実施します。
  - ◆中学校防水改修工事 5,390 万円  
(財源：市債 5,050 万円、基金 340 万円)  
※公共施設等整備基金を活用して実施します。

事業費		1 億 3,331 万円
財源	国・県	-
	市債	8,900 万円
	基金	1,631 万円
	市税等	2,800 万円

### ④ 公共施設マネジメントにかかる基金積立金（3 月補正）（財政課）

#### 《事業の目的》

「公共施設等総合管理計画」及び「公共施設マネジメント推進に向けた基本方針」などに基づく公共施設マネジメントを実施するための財政的な対応として基金への積み立てを計画的に実施します。

#### 《事業の内容》

- ◆公共施設等整備基金への積立

※令和 6 年度の積み立て予定額を令和 5 年度に前倒しして積み立てます。

事業費		3 億円
財源	国・県	-
	市債	-
	その他	-
	市税等	3 億円

## ウ システム標準化

### ① 【新】システム標準化に要する経費（各所管課）

#### 《事業の目的》

対象 20 業務について国が定めた仕様に基づく標準準拠システムへ移行し、全国の自治体の事務処理システムの仕様が統一化されることにより、自治体間でのデータ連携等でサービスや利便性の向上、事務の効率化を図ります。

事業費	3億7,085万円	
財源	国・県	2,787万円
	市債	-
	諸収入	3億4,298万円
	市税等	-

#### 《事業の内容》

令和6年度から環境構築等の作業に着手し、令和7年度に現行システムから標準準拠システムへ移行作業を行います。

- ◆システム利用に向けた環境構築経費 3億2,339万円
- ◆システム移行データ検証等経費 4,746万円

#### 《対象の20業務》

##### 【一般会計】

- ①住民基本台帳
  - ②国民年金
  - ③印鑑登録
  - ④固定資産税
  - ⑤個人住民税
  - ⑥法人市民税
  - ⑦軽自動車税
- } (デジタル戦略課) 1億2,296万円 (債務負担行為: R7 7,815万円)

- ⑧戸籍、⑨戸籍附票(市民課) 1,639万円 (債務負担行為: R7 2,732万円)
- ⑩児童手当、⑪児童扶養手当(子ども家庭課) 1,266万円 (債務負担行為: R7 1,610万円)
- ⑫子ども子育て支援(保育振興課) 4,959万円 (債務負担行為: R7 3,373万円)
- ⑬生活保護(暮らしの安心課) 0万円 (債務負担行為: R7 639万円)
- ⑭障害者福祉(障害福祉課) 659万円 (債務負担行為: R7 4,296万円)
- ⑮健康管理(健康増進課) 6,206万円 (債務負担行為: R7 2,716万円)
- ⑯就学(学校教育課) 775万円 (債務負担行為: R7 660万円)
- ⑰選挙人名簿(選挙管理委員会事務局) 23万円

##### 【特別会計】

- ⑱介護保険(介護保険課) 4,158万円 (債務負担行為: R7 6,642万円)
- ⑲国民健康保険税(国保医療課) 2,787万円 (債務負担行為: R7 2,270万円)
- ⑳後期高齢者医療(国保医療課) 2,317万円 (債務負担行為: R7 815万円)